

NSG
GROUP

第146期定時株主総会

日本板硝子株式会社

監査報告

報告事項

1. 事業報告
2. 連結計算書類
3. 計算書類

事業の経過およびその成果 (事業報告)

招集ご通知 5ページから9ページ

当期の概観

当社グループの主要市場は厳しい状況が続く

- ・ **建築用ガラス：数量は総じて弱く推移**
 - 市場は概して低調

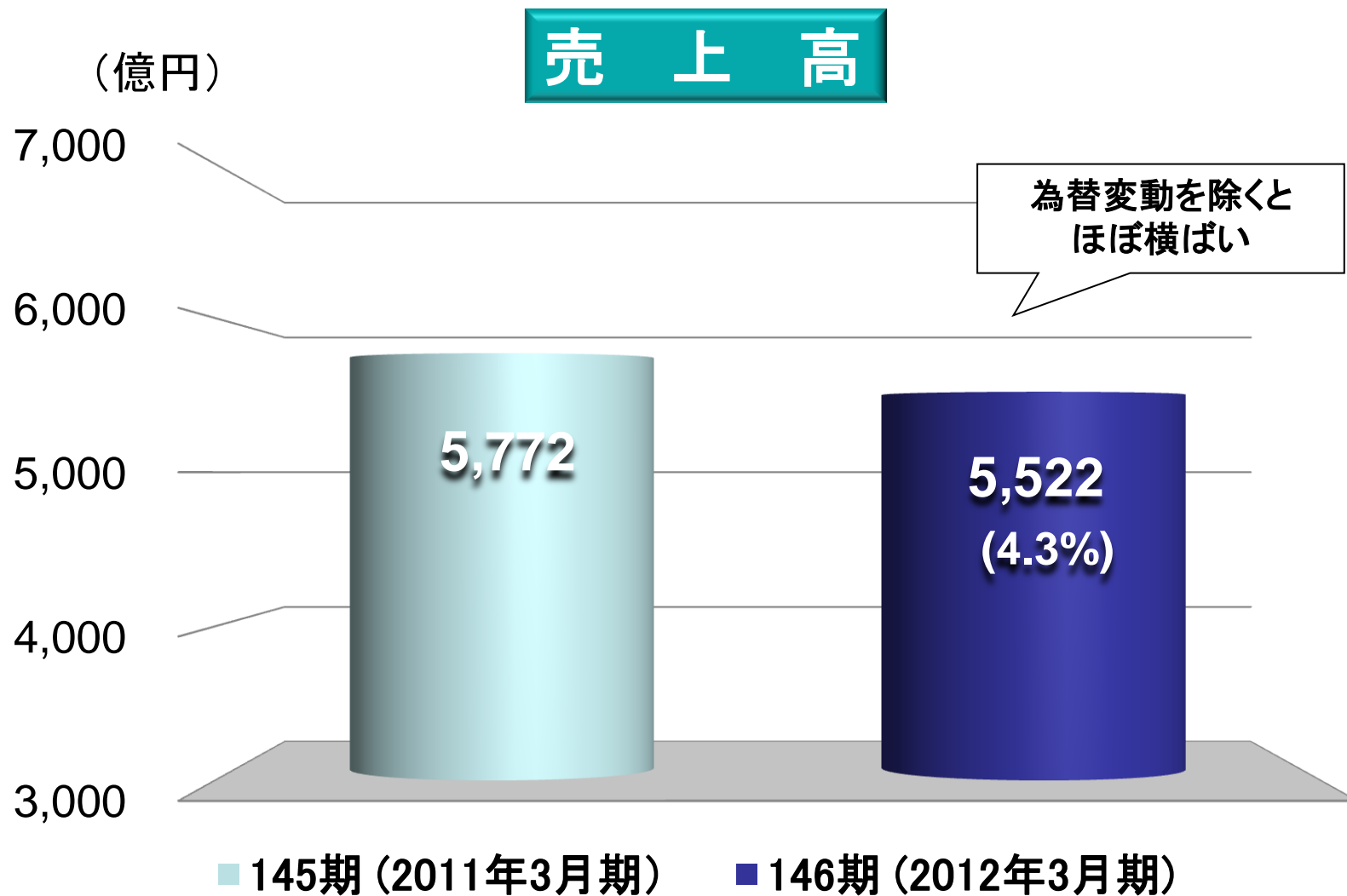
- ・ **ソーラー用ガラス：数量減少継続**
 - 下半期に需要が低下

- ・ **自動車用ガラス：厳しい経済見通しを受け、数量低調**
 - 年間を通じた著しい需要変動

- ・ **機能性ガラス：経済環境の影響を受けるも比較的好調**
 - 分野ごとに需要の硬軟

当期の業績

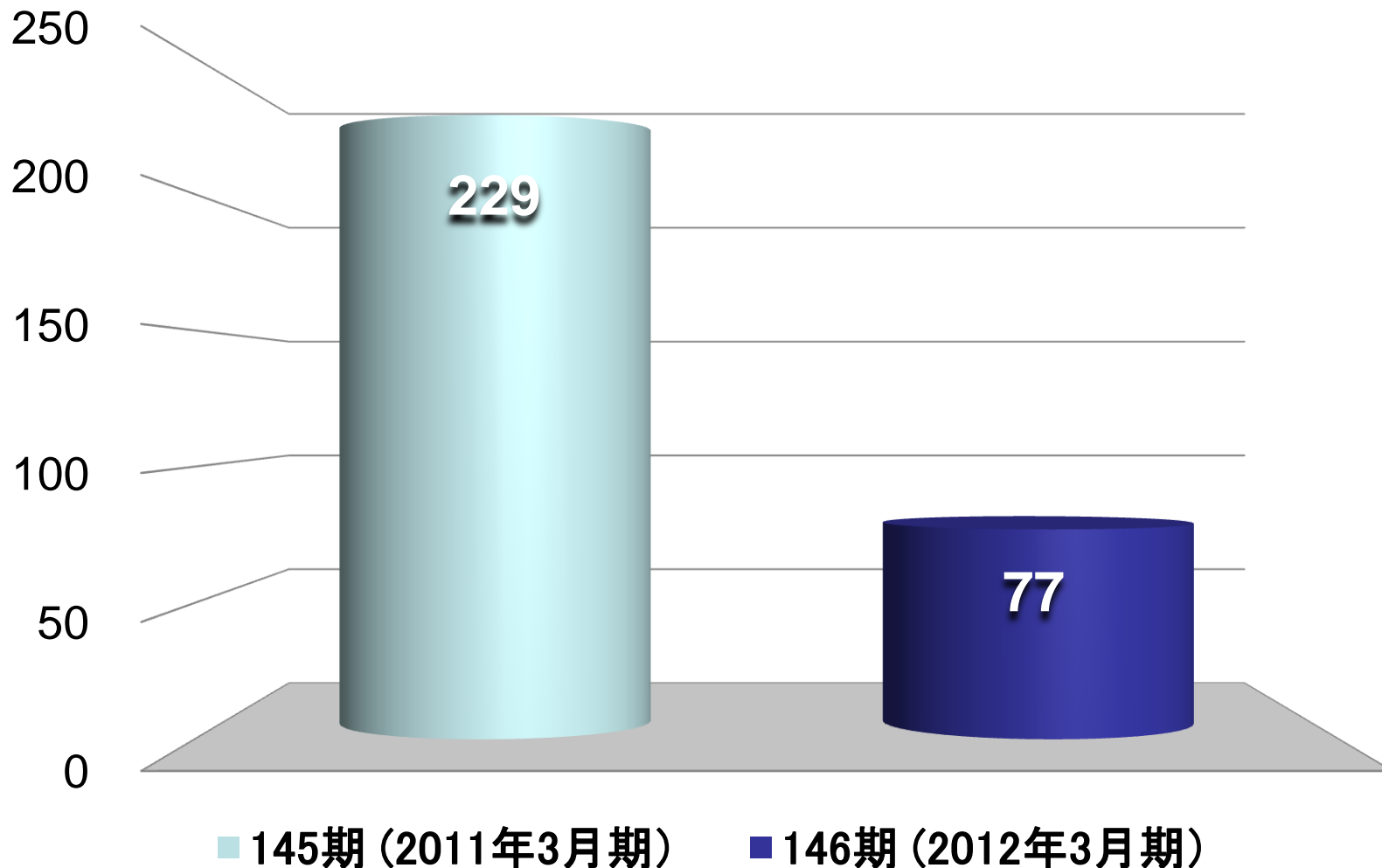
当期の業績(連結-IFRS)



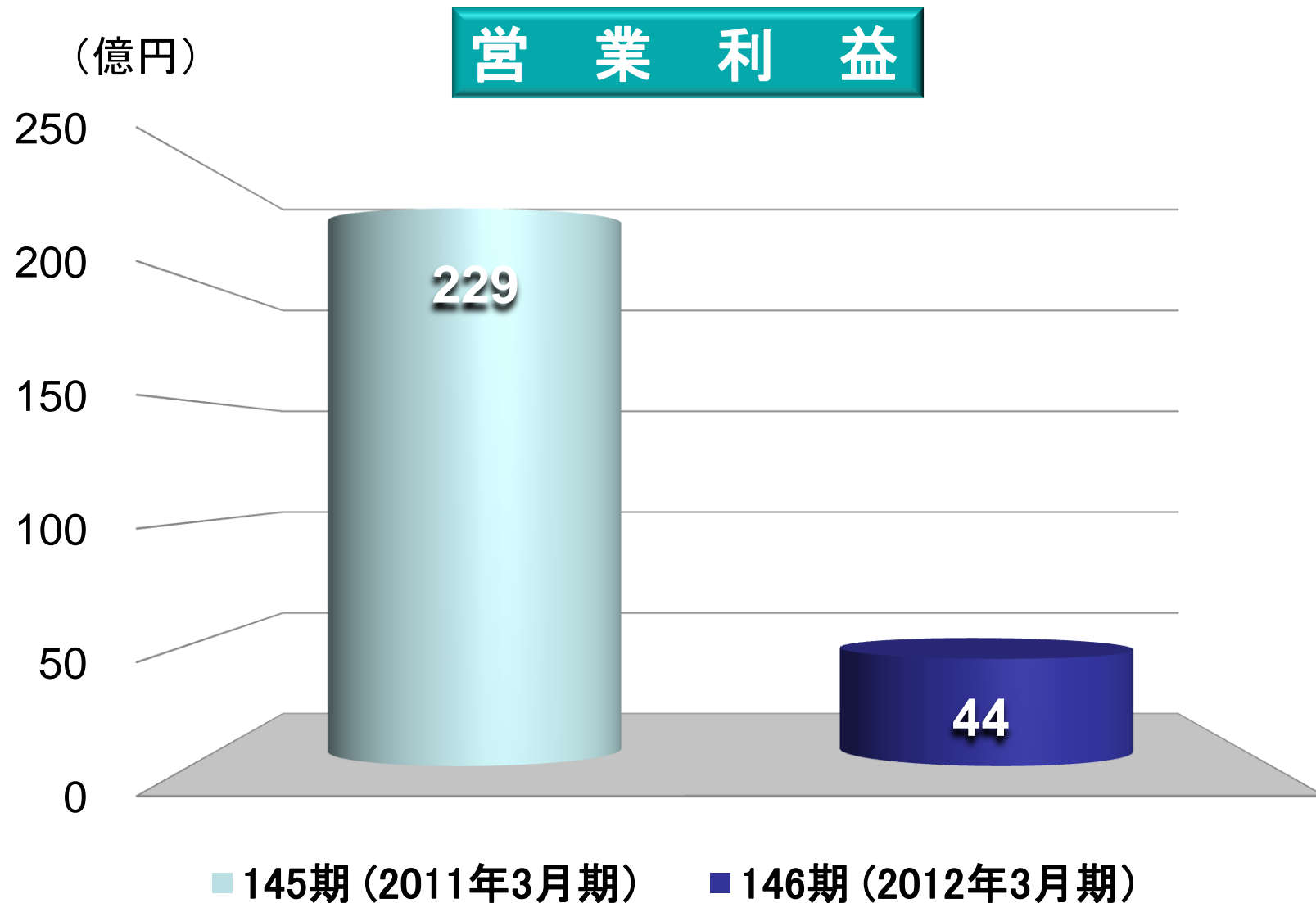
当期の業績(連結-IFRS)

(億円)

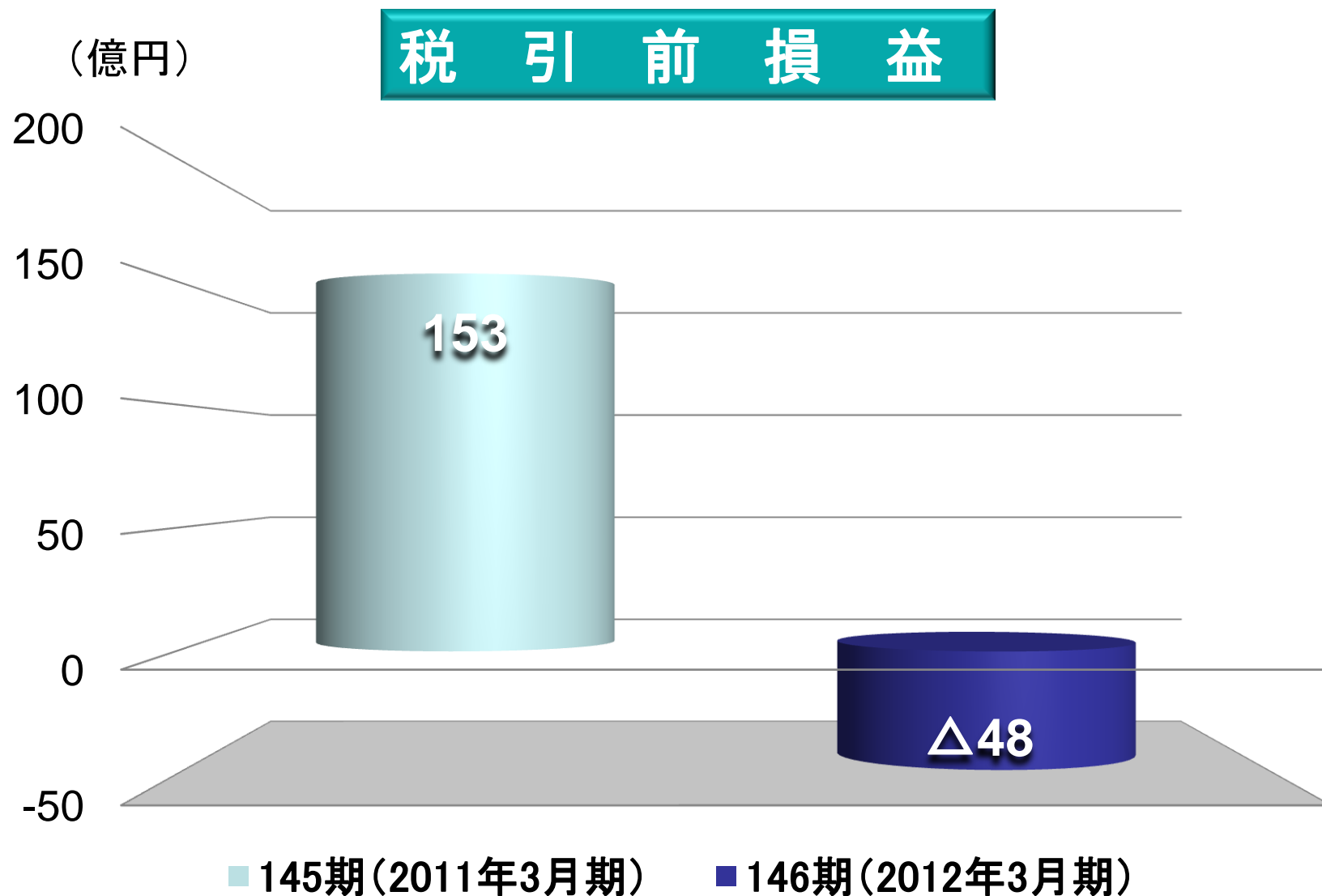
個別開示項目前営業利益



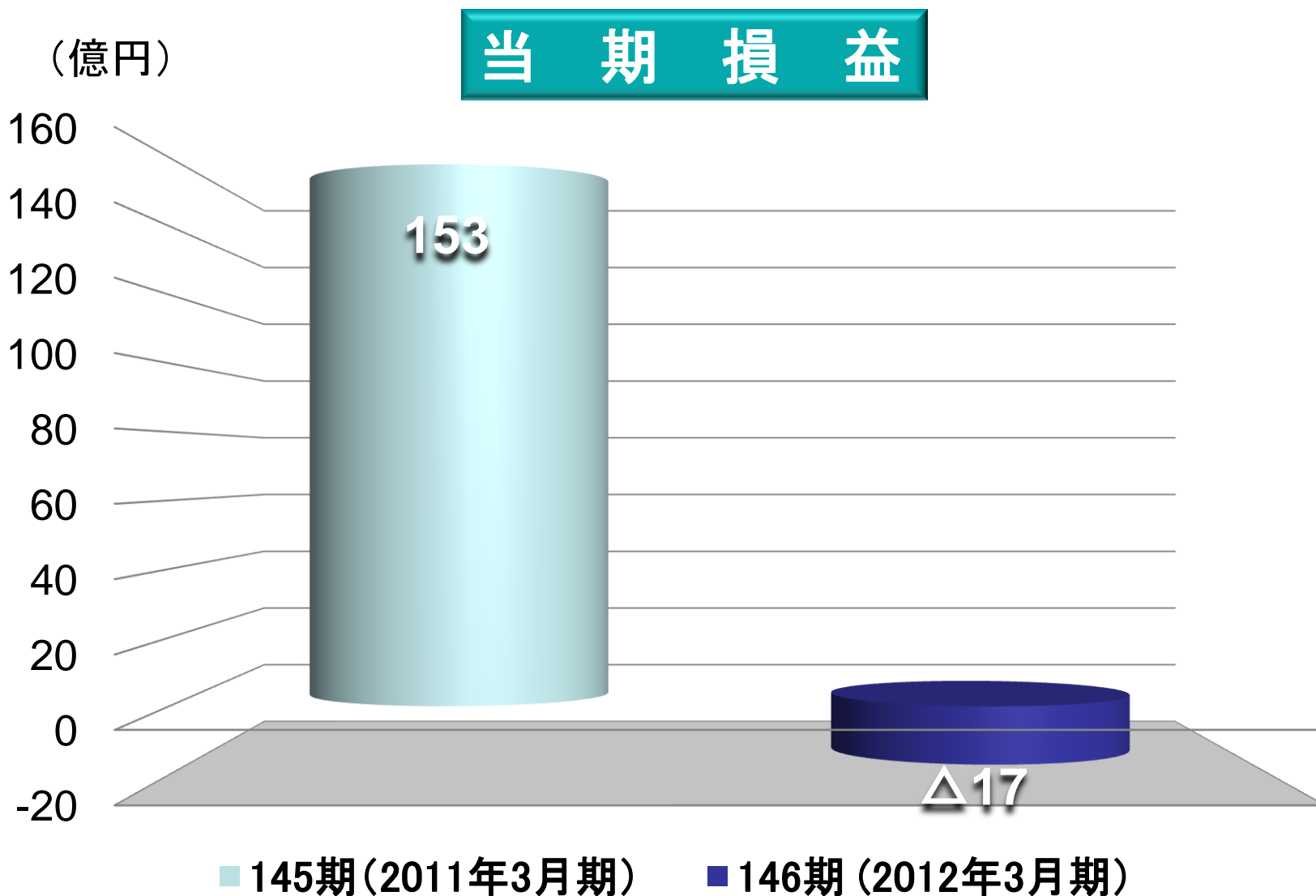
当期の業績(連結-IFRS)



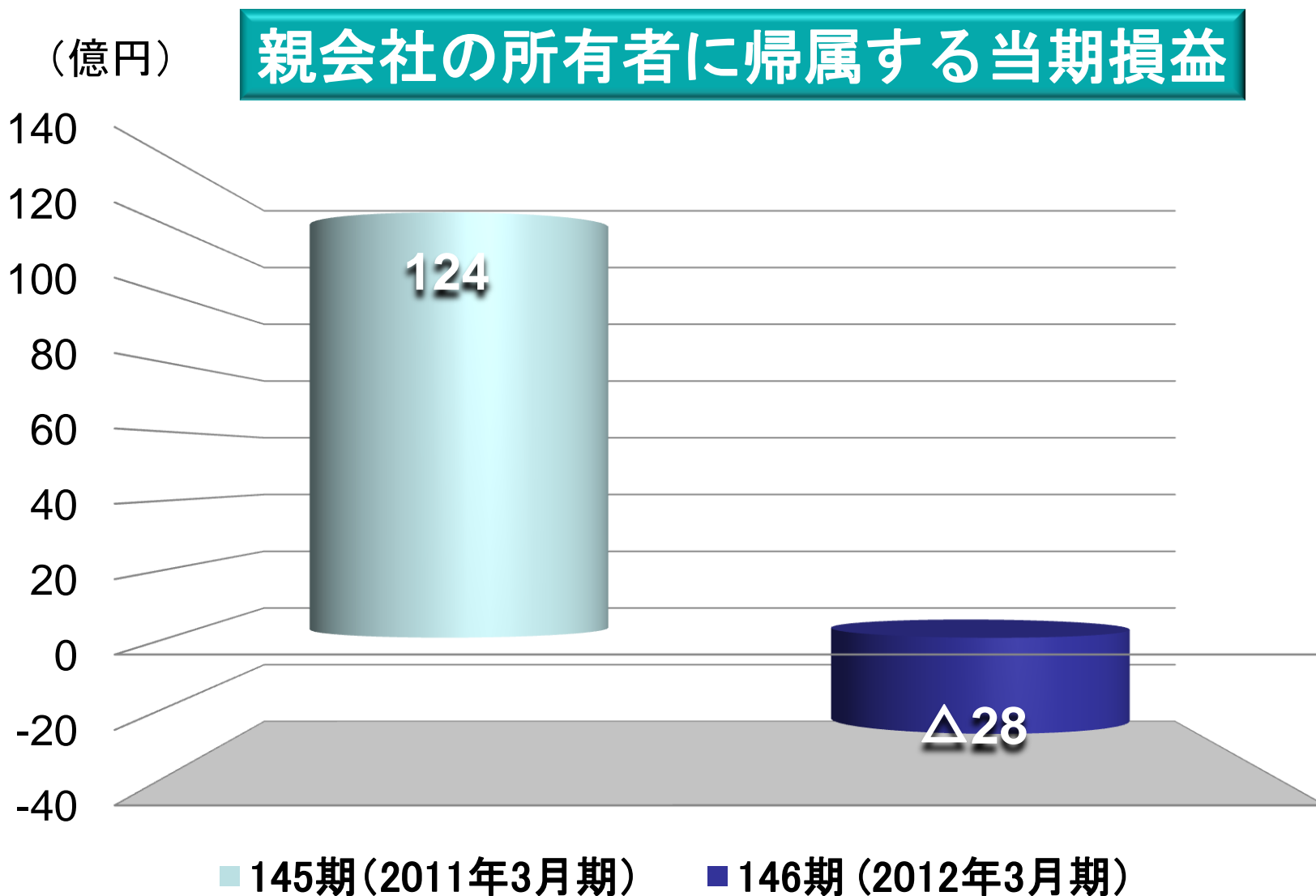
当期の業績(連結-IFRS)



当期の業績(連結-IFRS)



当期の業績(連結-IFRS)



事業別の状況

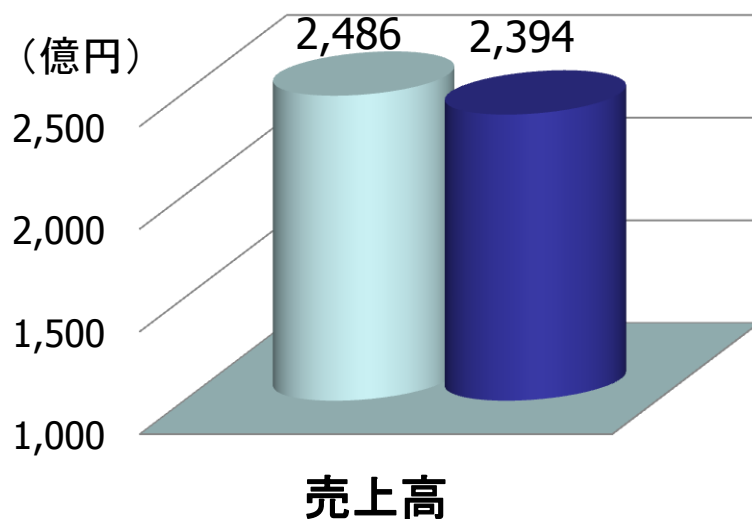
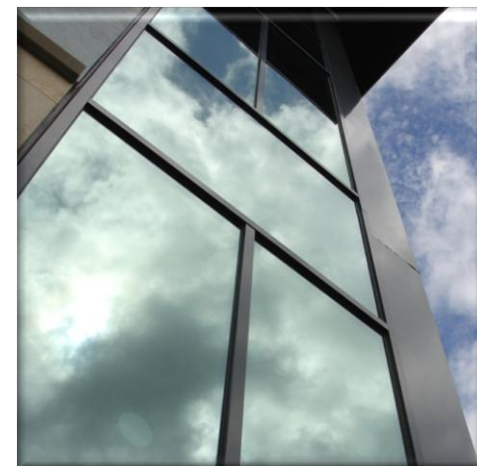
建築用ガラス

市場の軟化を反映

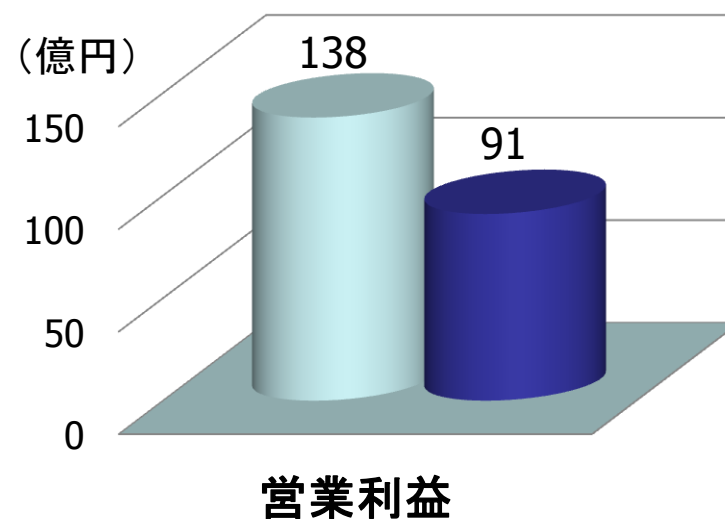
売上高: 2,394億40 百万円

(個別開示項目前)

営業利益: 91億35百万円



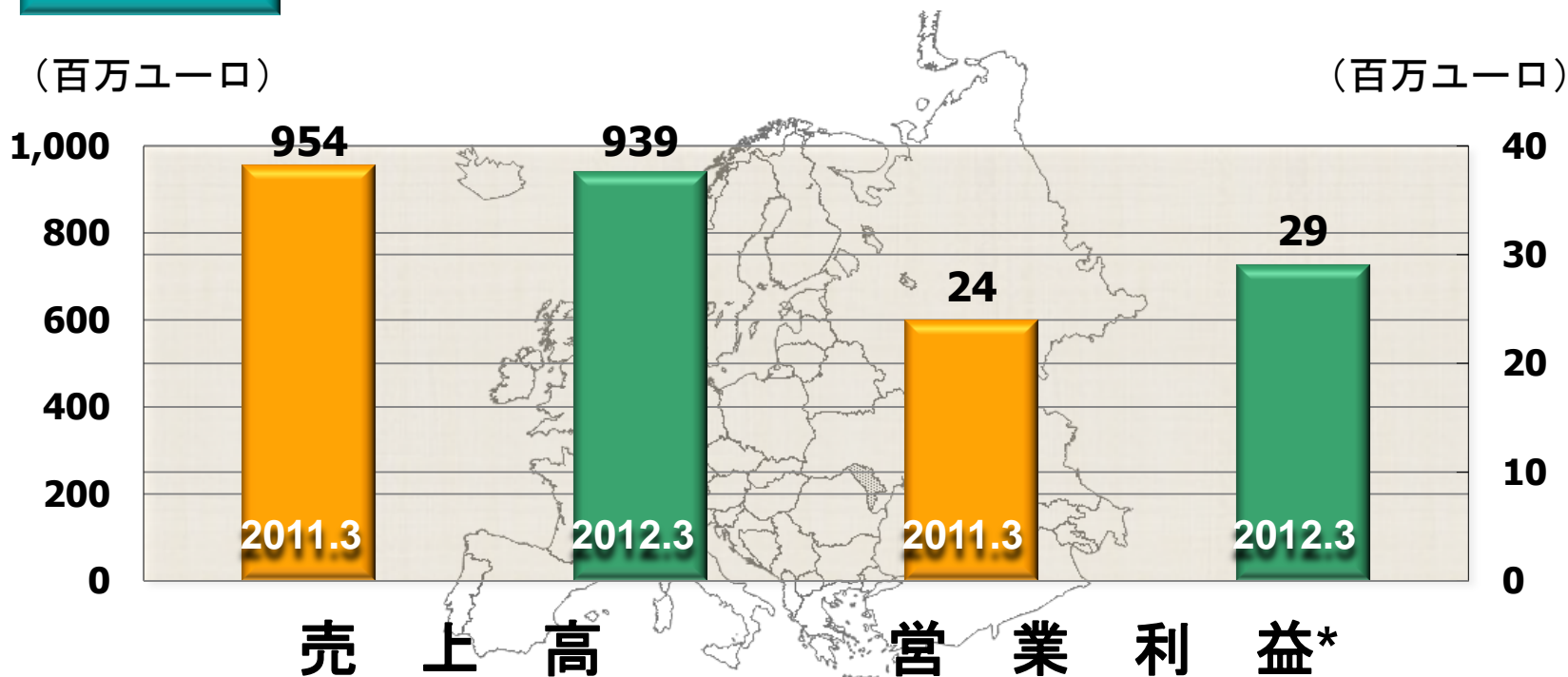
■ 2011.3 ■ 2012.3



■ 2011.3 ■ 2012.3

建築用ガラス

欧州

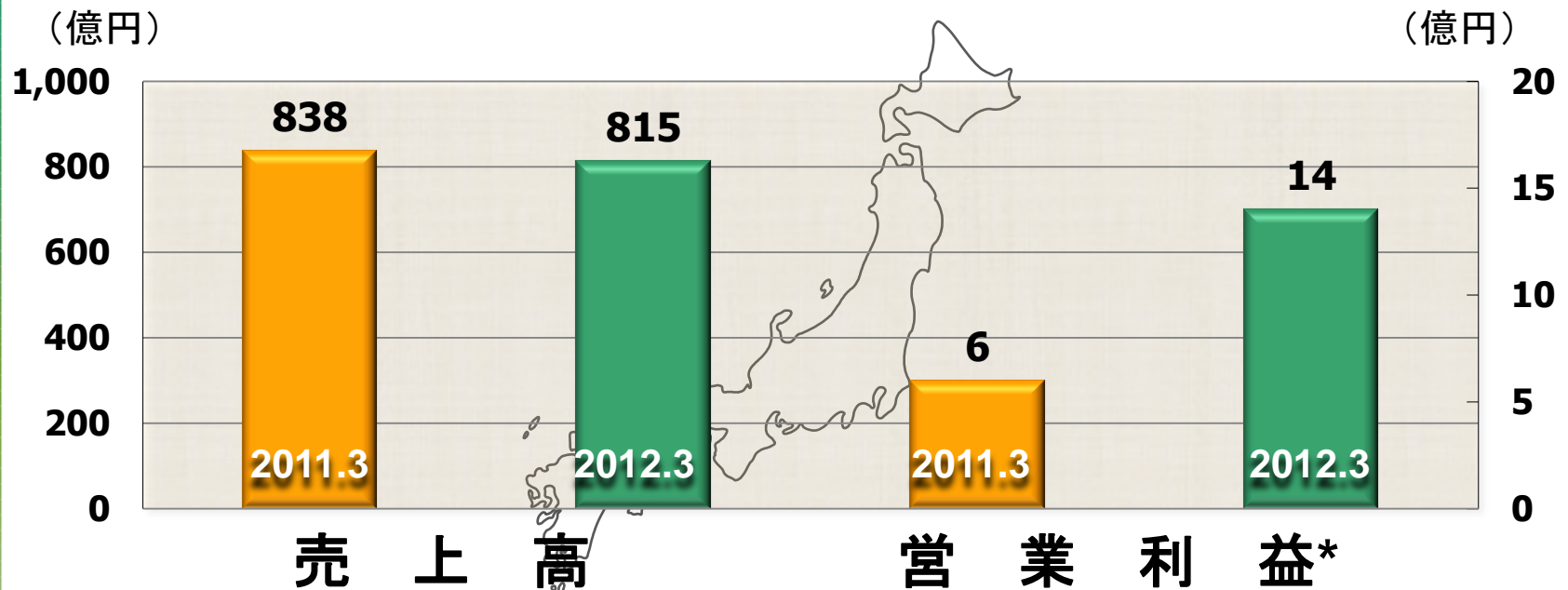


- 数量減による減収
- 投入コスト増を値上げとコスト削減で相殺し増益
- 供給過剰の様相

*個別開示項目前営業利益

建築用ガラス

日本

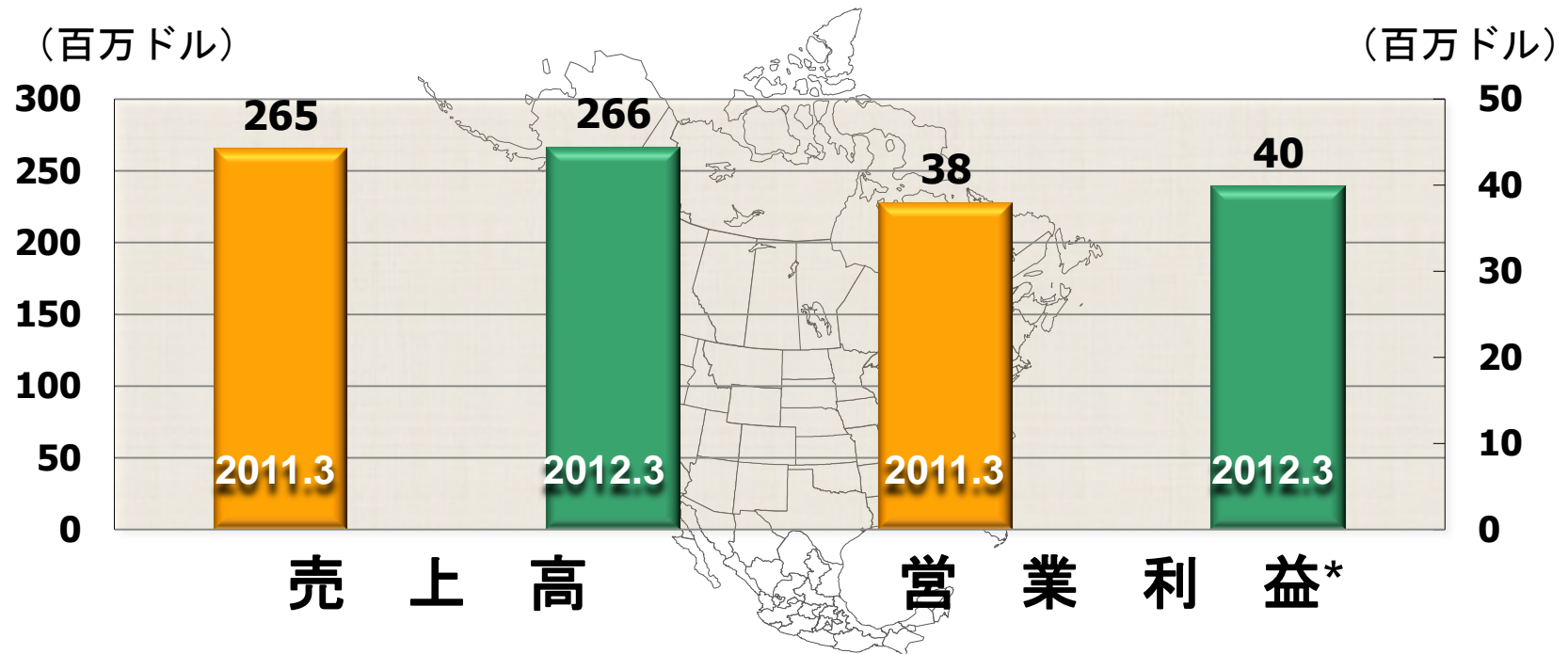


- ・ソーラー用ガラス出荷数量減少が売上高、営業利益に影響
- ・川下加工品数量増により増益

*個別開示項目前営業利益

建築用ガラス

北米



- 売上高、営業利益ともに前期並
- 汎用製品市場は依然低調

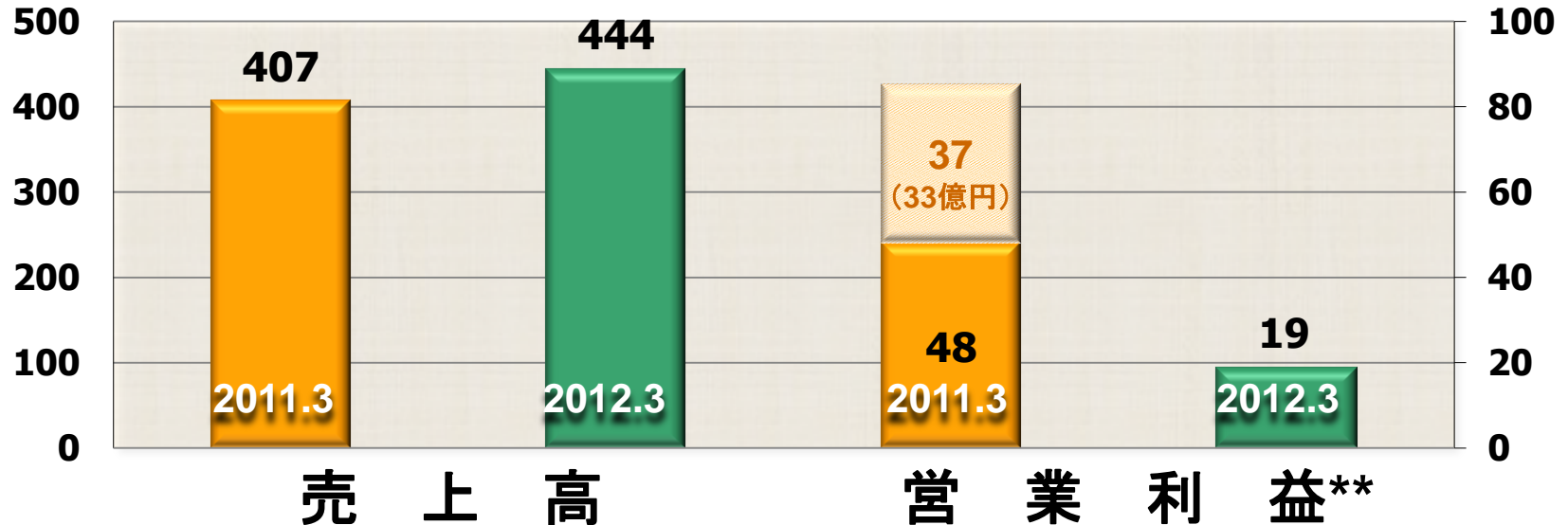
*個別開示項目前営業利益

建築用ガラス

その他の地域*

(百万ドル)

(百万ドル)



- ・前期のチリ地震の保険金収益（37百万ドル（33億円））を分けて表示
- ・東南アジアと中国では、中国の供給過剰による影響継続
- ・南米では、数量増もあり業績堅調

* その他の地域は、アルゼンチン、チリ、中国、マレーシアおよびベトナム

**個別開示項目前営業利益

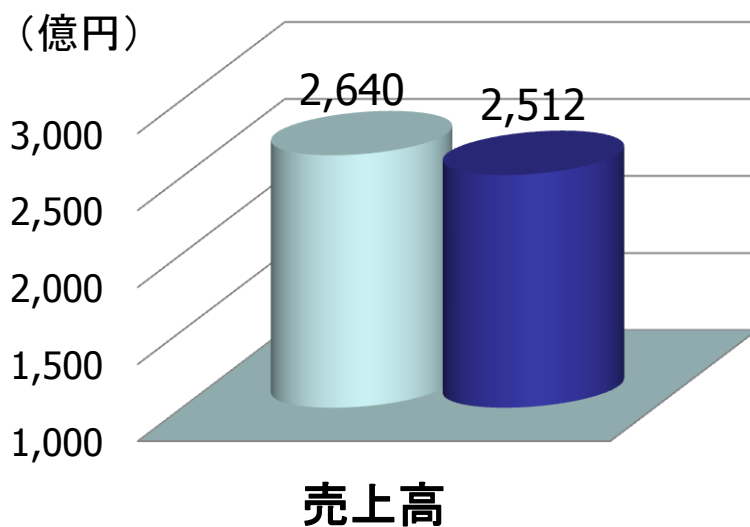
自動車用ガラス

投入コスト増と著しい需要変動により減益

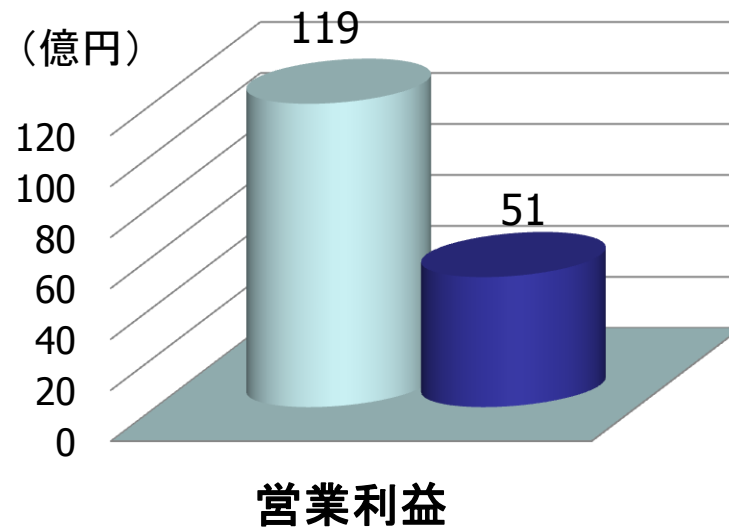
売上高： 2,512億29百万円

(個別開示項目前)

営業利益： 51億23百万円



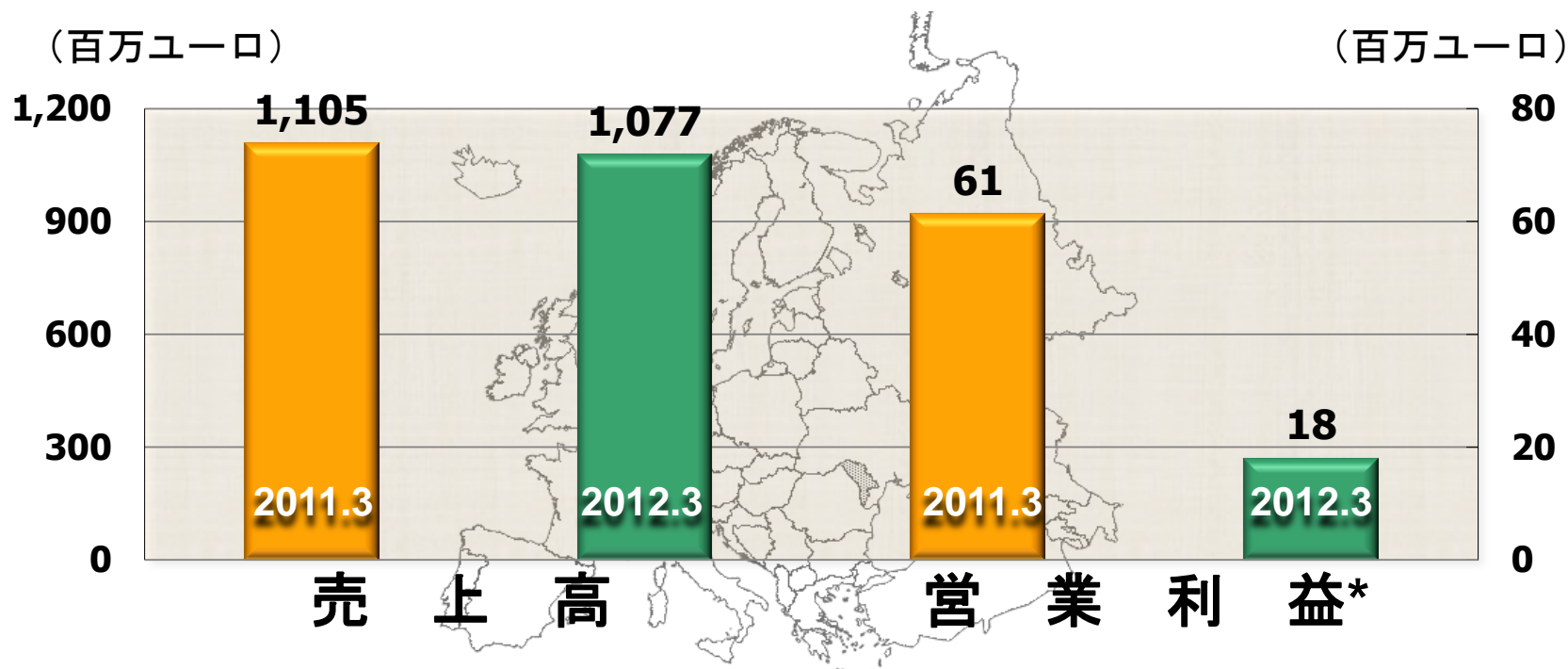
■ 2011.3 ■ 2012.3



■ 2011.3 ■ 2012.3

自動車用ガラス

欧州

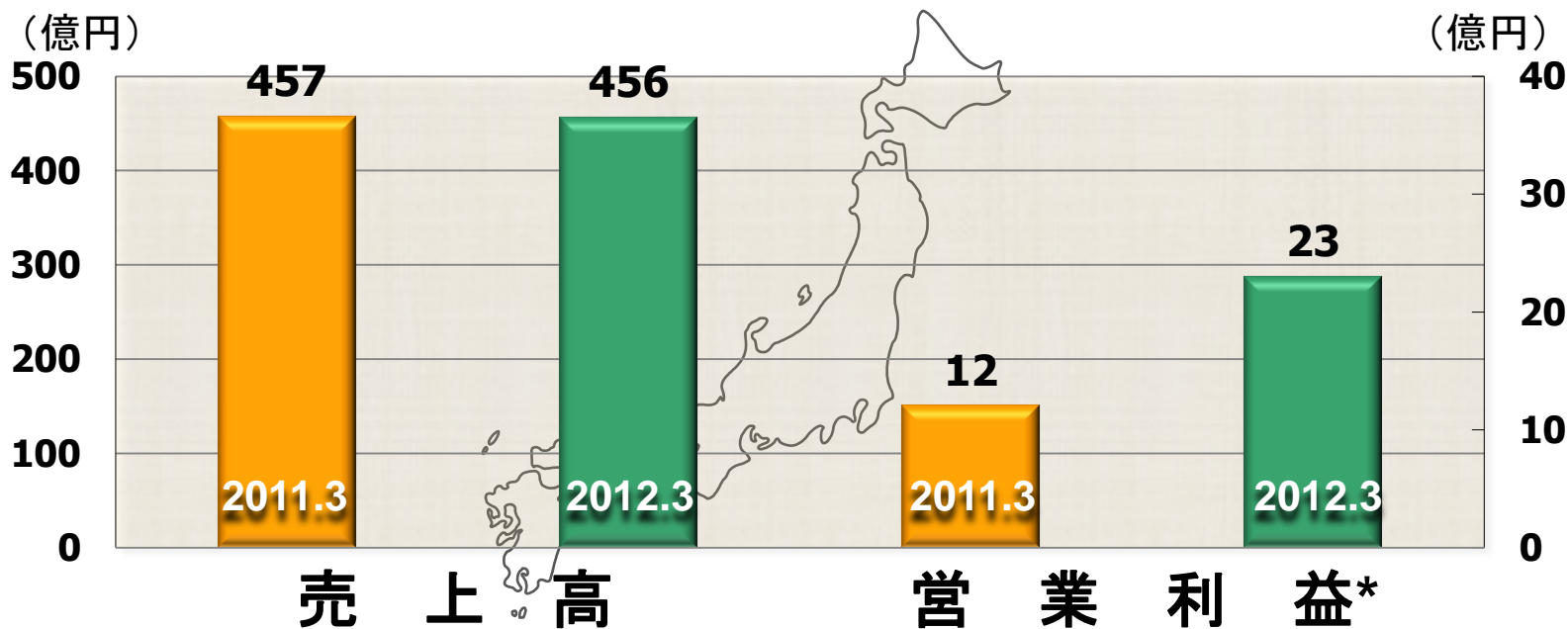


- 新車生産台数低調により、当社売上も微減
- 投入コスト増、需要変動により減益
- 補修用（AGR）は計画どおり進捗

*個別開示項目前営業利益

自動車用ガラス

日本



- ・震災およびタイ洪水の影響を受けるも自動車生産の回復が進み、第4四半期の売上高は通常レベルを上回る
- ・稼働率向上により、業績回復

*個別開示項目前営業利益

自動車用ガラス

北米

(百万ドル)

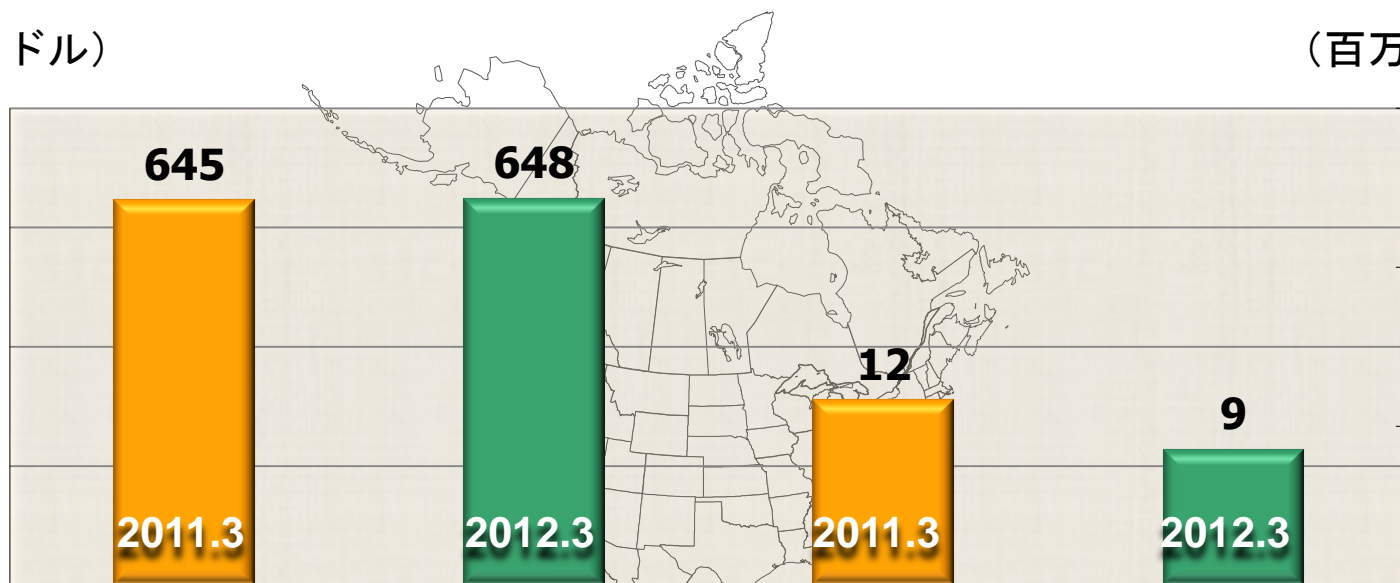
800

600

400

200

0



(百万ドル)

30

20

10

0

売上高 営業利益*

- ・ 需要変動と投入コスト増により減益
- ・ 第4四半期は需要が回復し、営業利益は改善中
- ・ 補修用（AGR）は需要の低下があるも堅調

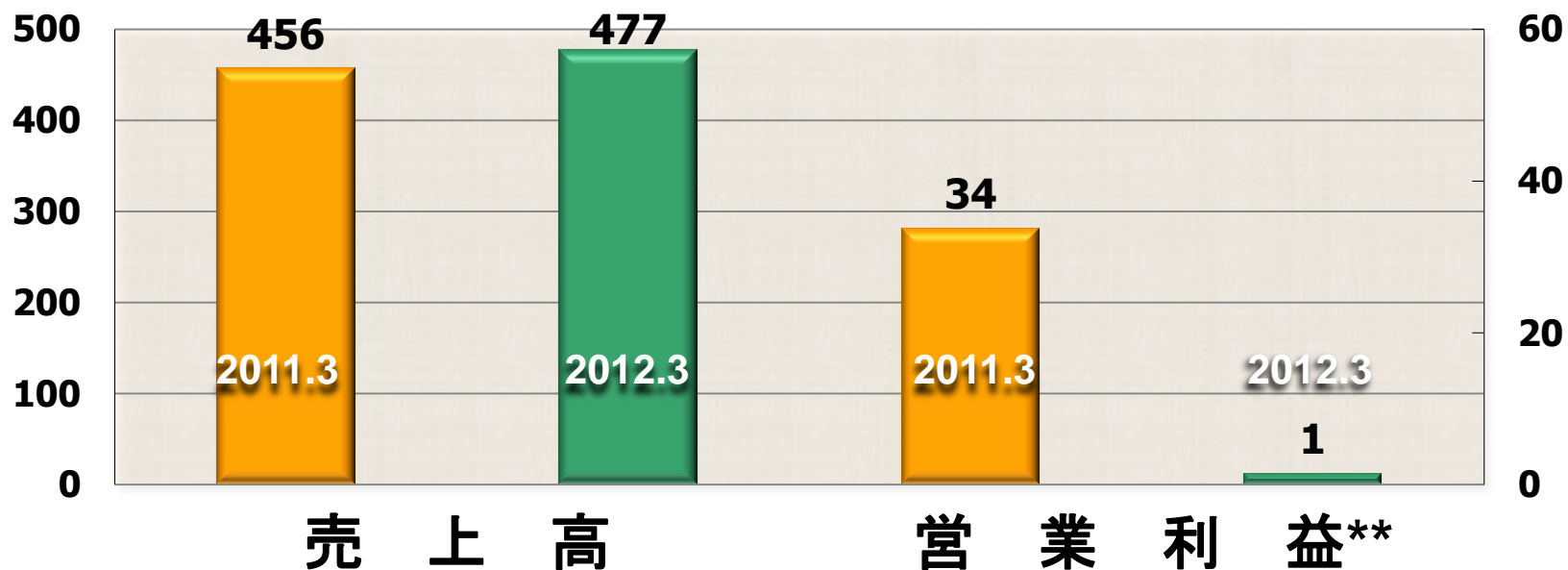
*個別開示項目前営業利益

自動車用ガラス

その他の地域*

(百万ドル)

(百万ドル)



- ・南米での数量増により増収
- ・需要の変動、投入コスト増および新規設備立ち上げコストにより減益

*その他の地域は、ブラジル、アルゼンチン、マレーシアおよび中国

**個別開示項目前営業利益

機能性ガラス

分野ごとに需要の硬軟を織り交ぜた業績

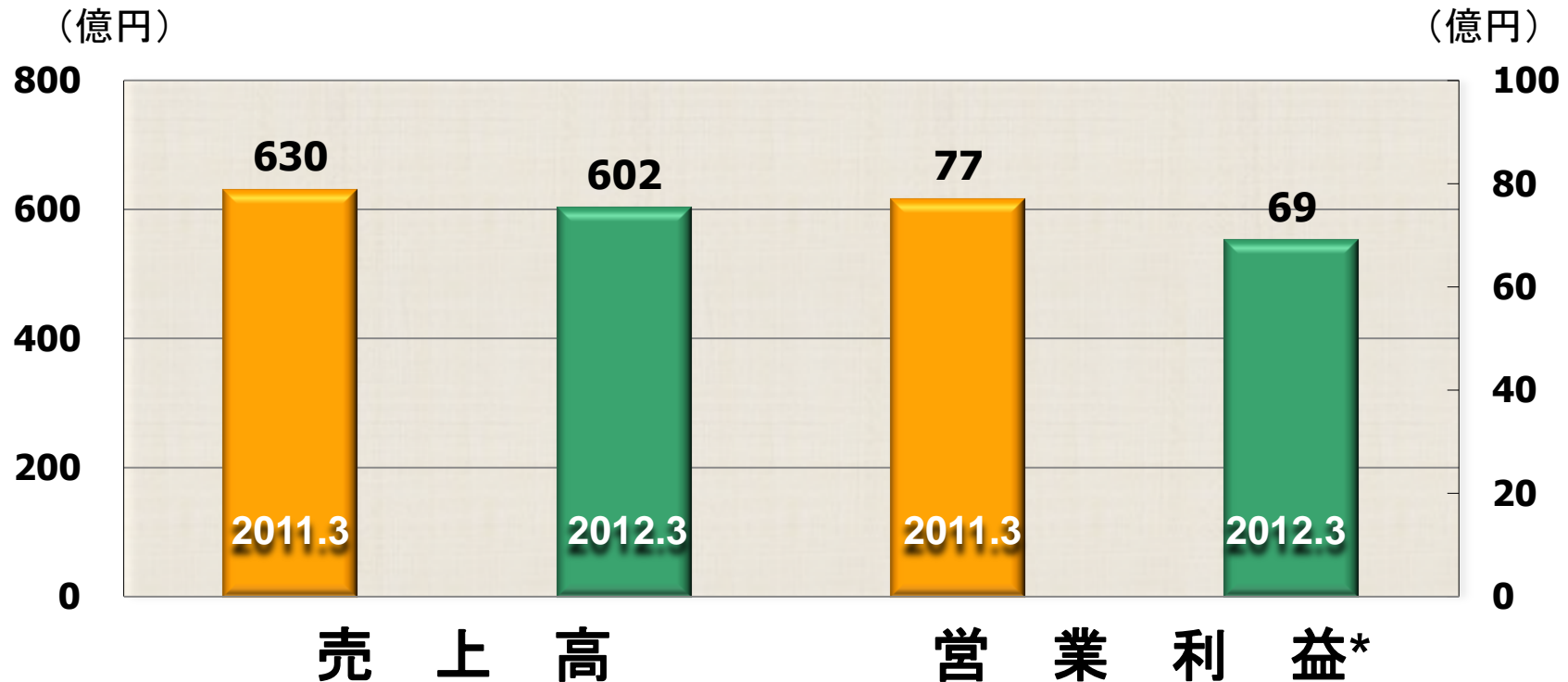
売上高： 601億67百万円

(個別開示項目前)

営業利益： 69億42 百万円



機能性ガラス



- ・ 携帯機器向けUFFの需要は堅調
- ・ プリンター、スキャナー市場における需要は円高影響あり
- ・ エンジンタイミングベルト用ゴムコードの売上高は欧州自動車業界の状況に沿って軟化

*個別開示項目前営業利益

その他

売上高： 13億87百万円

(個別開示項目前)

営業損失： 134億84百万円

- 一時的な収益が含まれていた前期に比べ営業損失が増加
- 全社費用、連結調整、小規模な事業およびピルキントン社買収に伴い認識された無形資産の償却費

第146期連結計算書 (IFRS)

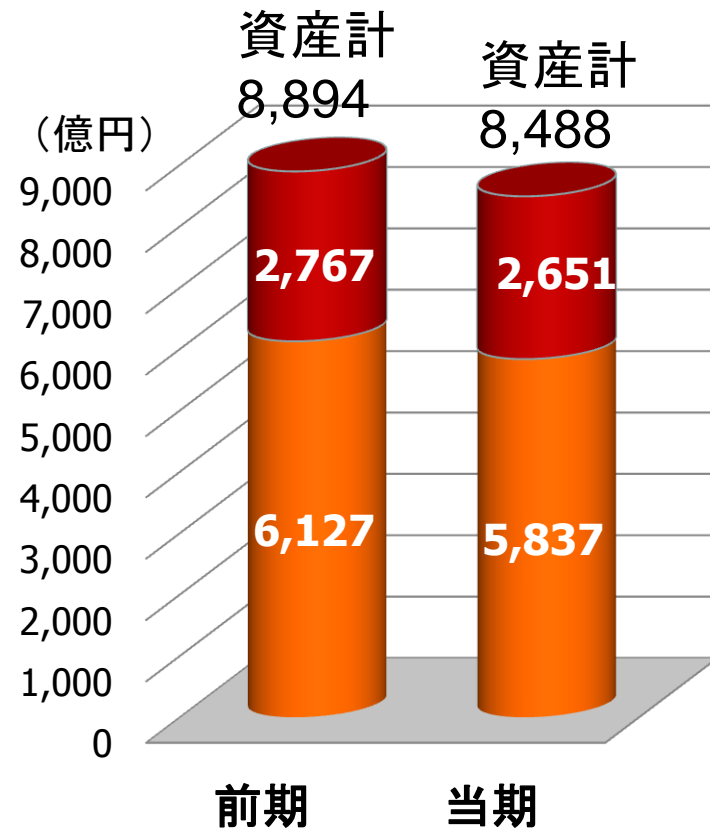
連結貸借対照表

2012年3月31日現在

招集ご通知 36ページ

連結貸借対照表 IFRS

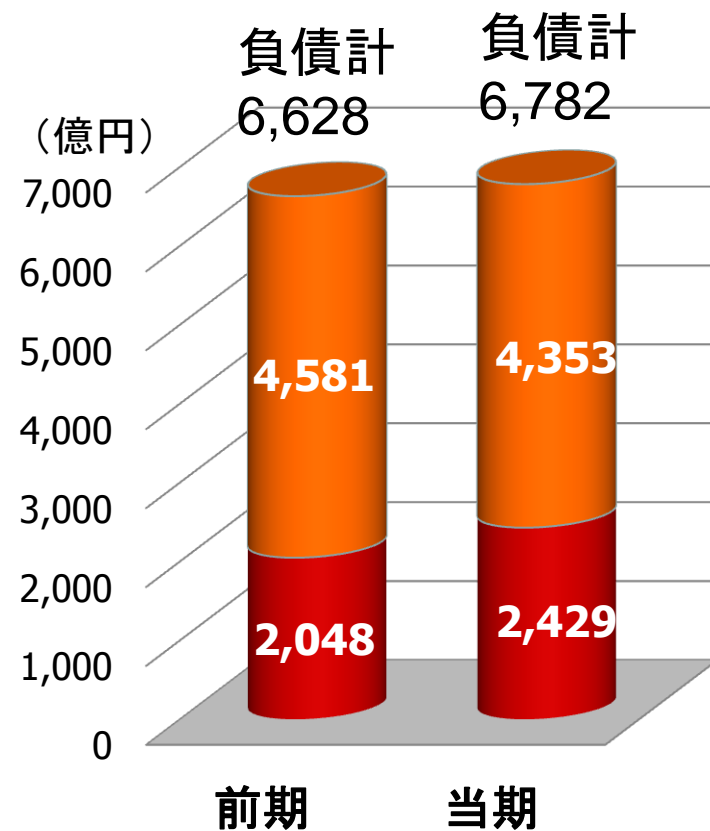
(億円)



■ 非流動資産 ■ 流動資産

連結貸借対照表 IFRS

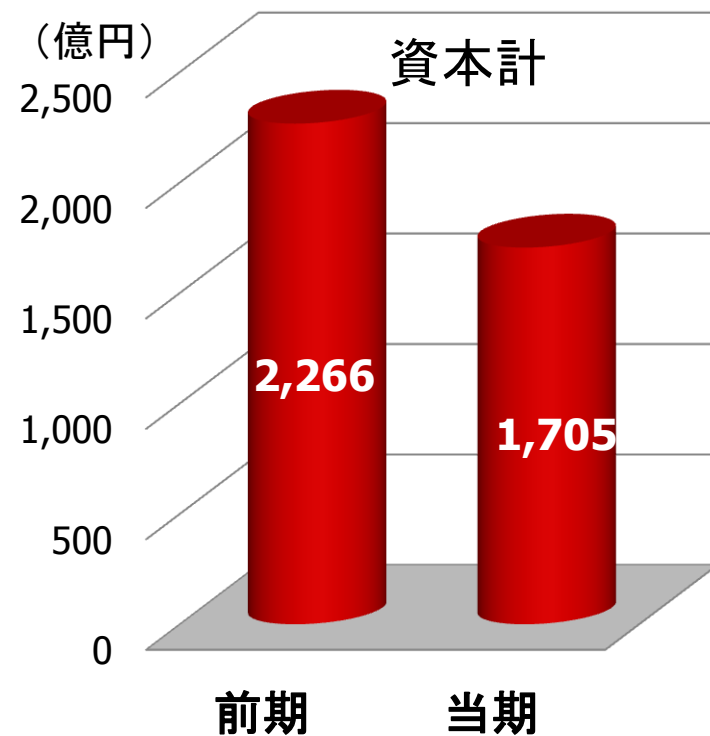
(億円)



■ 流動負債 ■ 非流動負債

連結貸借対照表 IFRS

(億円)



■ 資本

連結損益計算書

2011年4月1日～2012年3月31日

招集ご通知 37ページ

連結損益計算書 IFRS

(億円)

連結損益計算書要約	
売上高	5,522
個別開示項目前営業利益	77
営業利益	44
税引前損失	(48)
当期損失	(17)
親会社の所有者に帰属する当期損失	(28)

- **連結持分変動計算書
招集ご通知 39ページ**
- **単独計算書類
招集ご通知 41ページから 43ページ**
- **連結注記表および個別注記表
インターネット上の当社ホームページに掲載
www.nsg.co.jp**

対処すべき課題 (事業報告)

招集ご通知 10ページから13ページ

対処すべき課題

- 欧州経済見通しへの懸念
- 主要市場、とりわけ中国における供給過剰問題
- 太陽光発電市場の混乱

引き続き、

- 円高進行によるマイナス影響
- エネルギーコスト等投入価格の上昇

2013年3月期に市場の大幅な改善は見込まれず

対処すべき課題 新体制

クレメンス・ミラー
代表執行役副社長兼COO



吉川恵治
代表執行役社長兼CEO



マーク・ライオンズ
代表執行役CFO



対処すべき課題 優先課題

収益性改善と事業効率向上のための 諸施策を加速

- 生産能力調整
- 人員削減

2013年3月期からの
利益成長基盤を再確立

- キャッシュ支出総額 約250億円
- キャッシュ創出効果 年間約200億円

対処すべき課題 方向性

短期的には収益性の回復に注力

戦略的経営計画(SMP)はなお有効

- 戦略的製品構成において付加価値製品(とりわけ機能ガラス分野)
- 現地パートナーと協業し、新興地域へ注力
- ガラス産業の長期的な見通しはポジティブ

招集ご通知 10ページ

- 設備投資の状況、資金調達等の状況

招集ご通知 12ページから 35ページ

- その他の当社グループの現況に関する事項
- 会社の株式に関する事項
- 剰余金の配当等の決定に関する方針
- 会社の新株予約権等に関する事項
- 会社役員に関する事項
- 会計監査人の状況
- コーポレートガバナンスの状況

第146期定時株主総会

日本板硝子株式会社

剰余金の配当等

期末配当金： **1.5円/株**
 （中間配当金**3円/株**と併せ、年間**4.5円/株**）

- 業績悪化
- 来期も損失計上見通し

2013年3月期： 無配予想

持続可能な事業の業績をベース
 に安定的に配当を実施

少しでも早く復配できるよう収益改善に全力

決議事項

議案 取締役9名選任の件

招集ご通知 46ページから 52ページ

議案 取締役9名選任の件

藤本 勝司

阿部 友昭

吉川 恵治

クレメンス・ミラー
(Clemens Miller)

マーク・ライオンズ
(Mark Lyons)

ジョージ・オルコット
(George Olcott)
(社外取締役候補者)

藤田 純孝
(社外取締役候補者)

朝香 聖一
(社外取締役候補者)

小宮 弘
(社外取締役候補者)

第146期定時株主総会

日本板硝子株式会社

NSG
GROUP